

押原中キャリア教育と基礎的・汎用的能力との関連表



活動を通して最も育てたい能力



活動を通して次に育てたい能力

2 学年

学年でのキャリア教育の取り組み（活動）				
基礎的・汎用的能力	宿泊体験的学習		職業体験的学習	
	ふるさと探訪	スキー教室	職場体験	職業講話
人間関係形成・社会形成能力		<p>実技・宿泊における集団行動で、自らの言動・行動が他者に与える影響について理解する。</p>		
	<p>仲間と話し合っってコースを作り上げる。見学先でテーマに関わる質問をすることで、学びを深める。</p>	<p>実技・宿泊を通して、他者に配慮しながら、楽しいスキー教室を送る中で人間関係を築く。</p>		
自己理解・自己管理能力			<p>体験する職場から、職業や実社会での活動にかかわる生の情報を入力し、必要とされる能力や技術・資格などについて知る。</p>	<p>将来自分が生きていくために、どのような特性があるのか、エゴグラムなどを利用して客観的に理解する。</p>
課題対応能力	<p>情報を整理し、必要なものを選択する。一連の活動をポートフォリオにまとめ、新聞を使って社会とのつながりに気づく。</p>			
キャリアプランニング能力	<p>テーマやコースの決定を通して、選択の楽しさと責任に気づく。</p>		<p>将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。体験を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。</p>	<p>さまざまな職業の方の話聞くことで社会・職業生活との関連や現在の学習生活との関連を結び付け、働くことの喜びや厳しさを感じる。</p>
	<p>コース作りや実際の見学にあたり、課題を解決するために努力する。</p>	<p>実技における課題に積極的に取り組み解決しようとする。</p>	<p>自分の役割が仕事の中でどのような意味を持つか理解する。様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。</p>	<p>一人ひとりの個性や能力を生かし、将来の自分自身のために最も合った職業に就くためのきっかけとし、これからの進路学習や職場体験につなげていくよう意識する。</p>

押原中キャリア教育と基礎的・汎用的能力との関連表



活動を通して最も育てたい能力



活動を通して次に育てたい能力

2 学年

学年でのキャリア教育の取り組み（活動）

基礎的・汎用的能力	生徒会活動			いのちの教育
	学年生徒会活動	学園祭（学年発表）	学園祭（体育部門）	健康福祉講話
人間関係形成・社会形成能力	基本的な生活習慣を定着させる活動や奉仕活動を通して、自分や仲間のことを理解し、他者への配慮ができるようにする。	登場人物の心情を理解し、それぞれの立場で表現する。		
自己理解・自己管理能力			クラス全員でひとつの種目に取り組むことで、適切なコミュニケーションを築く。他者と協力して課題に対応しようとする。	
課題対応能力			体育部門を成功させるために果たすべき自分の役割を、練習や本番を通して理解する。	自分のいのちや生き方について見つめなおす。
キャリアプランニング能力			クラスで目標を立て、それに向かって計画を立てるとともに、達成のために努力する。	
		先人の業績に触れ、社会的役割やその意義を理解し、自己の生き方を考える。		「いのち」や「健康」について、正しい情報を得ることの大切さに気づき、情報をもとに、自らの考えを持つ。
	よりよい集団を目指して課題を見つけ、話し合いを通して具体案を出し、解決していくために努力する。	よりよい発表のための改善点を見出し、主体的に解決する。	クラスの課題を見つけ、自分たちで解決していこうとする。安全に留意し、自ら判断し行動する。	